U-Reach　UR-Pシリーズコントローラ

操作マニュアル

※ 接続方法は同梱の英文マニュアル（User Guide）をご覧下さい。

パッケージ内容：
- コントローラ本体　・取付用ネジ（4個）
- SATAケーブル(ポート数と同数本)
- User Guide(英文)　・ 操作マニュアル(本書)

操作パネル

LCD液晶
メニューやメッセージを
表示します

操作ボタン
デュプリケータの操作
全般を行ないます

上ボタン
メニューや設定画面で上にカーソルを移動します

下ボタン
メニューや設定画面で下にカーソルを移動します

決定（OK）ボタン
選択した内容を決定します / メニュー選択では次の画面に進みます

キャンセル（ESC）ボタン
選択した内容をキャンセルします / メニュー選択では前の画面に戻ります

メニュー一覧

電源を入れて最初に表示される「トップメニュー」と、メニュー項目によってはさらに詳細な設定等が可能となる「サブメニュー」が用意されています。ご購入時に通常利用で最適な設定をおこなっておりますので、「8.セッテイ」は変更することなく、すぐにご利用できます。

メニュー表示	メニュー内容	参照
1.コピー	マスターディスクのデータあるいはHDDのイメージをブランクディスクに書き込む、デュプリケーターの基本機能です。	P4
2.テスト　コピー	コピーをシミュレートし、データ内容やディスクの状態をチェックする機能です。実際の書込は行ないません。	P4
3.コンペア	マスター（原本）のデータと、複製されたディスクのデータが一致するか確認する機能です。	P4
4.コピー＋コンペア	コピーを行ったあとに引き続いて自動でコンペアを行ないます。	P4
5.コピースピード　セッテイ	書込の速度（倍速）を設定します。 【標準設定値】CD:32x DVD:8x DVD DL:2.4x BD:4x	P5
6.マスター　センタク	コピー元のドライブを選択できます。	P5
7.ユーティリティ	デュプリケータの情報を見たり、特殊機能を利用します。	P5
7-1.ジョウホウ	ディスクやデュプリケータの情報を確認します。	P5
7-2.Erase Disc	書き換え可能メディア（RW、RE）の書込済データ消去を行います。	P6
7-3.ジゼン　ベリファイ	マスターのディスクが正常に読み込みができるかチェックを行います。	P7
7-4.トラック　ヘンシュウ	複数の音楽CDからトラックを選択し、1枚の音楽CDに編集します。	P7
7-5.スベテノディスク ヲ ハイシュツ	全てのドライブのトレイを開きます。	P7
7-6.コピー　カウンター	通算のコピー履歴を表示します。	P7
7-7.BIOS　アップデート	コントローラのファームウェアアップデートを行います。	P8
7-8.ライトスクライブ	LightScribe対応ドライブ搭載機専用の機能です。	P8
8.セッテイ	各種設定を行ないます。	P9
8-1.オートスタート　タイム	ドライブ挿入から何秒後に自動コピーを開始するか設定します。	P9
8-2.ヒョウジモード　センタク	コピー中の進捗や時間表示の方式を選択します。	P9
8-3.ボタン　ノ　オト	ボタンを押した時に音が鳴るかどうかを選択します。	P9
8-4.スタート　ジノ　ハイシュツ	起動時に排出されるドライブを設定します。	P9
8-5.ヨミトリ　スピード	マスターの読み込みスピードを設定します。	P10
8-6.コンペア　ソクド	コンペア時の倍速設定を行います。	P10
8-7.ゲンゴ　センタク	画面に表示する言語を選択します。	P10
8-8.セッテイ　クリア	全ての設定をデフォルト状態に戻します。	P10

	8-9.ショウサイセッテイ	特殊な設定を行います。（通常は変更する必要がありません）	P11
	8-9-1.システム　キドウジカン	ドライブの認識に時間が掛かる場合に起動時間を引き延ばすことが出来ます。ドライブの数が多い場合には長めに設定します。	P11
	8-9-2.スタート　メニュー　センタク	起動時に表示されるメニューを選択します。	P11
	8-9-3.ヨミトリ　エラー　スキップ	読み取りのエラーが発生した場合に無視するかを選択します。	P11
	8-9-4.フリョウ　マスター　ヘンコウ	マスターが不良状態の場合にディスクを排出するかを選択します。	P11
	8-9-5.CDオーバーコピー	CD本来の規格サイズを超えた位置に書込を行い、書込可能領域を増やします。ただし、規格を無視するため互換性が低下します。	P11
	8-9-6.HDD　イメージ　ヒョウジ	ハードディスクをマスターにした際の表示方法を選択します。 （出荷時：イメージ　ノ　ナマエ）	P12
	8-9-7.Keep Buffer	バッファの利用を一定に保ち、安定動作を重視します。（通常：オン）	P12
	8-9-8.キドウパスワードセッテイ	起動時に必要となるパスワードを設定します。	P12
	8-9-9.システムパスワードセッテイ	セッテイの項目を変更する際に必要となるパスワードを設定します。	P12
	8-9-10.CountPassword	コピーカウンターを表示する際に必要となるパスワードを設定します。	P12
	8-9-11.Fast Key		P13
9.イメージカンリ		ハードディスク内にイメージの作成を行ったり、削除や変更等の設定を行います。	P14
	9-1.イメージ　センタク	ハードディスク内に保存済みのイメージを選択します。	P14
	9-2.イメージサクセイ	マスターディスクからハードディスク内にイメージファイルを作成します。	P14
	9-3.ヨミトリ　スピード　セッテイ	マスターディスクを読み込むスピードを設定します。読込が安定しない場合に速度を下げます。	P14
	9-4.イメージ　ジョウホウ	ハードディスク内に保存済みのイメージの情報を確認します。	P14
	9-5.イメージ　ノ　ナマエ　ヘンシュウ	ハードディスク内に保存済みのイメージの名前を変更します。	P15
	9-6.イメージ　サクジョ	ハードディスク内に保存済みのイメージを指定して削除します。	P15
	9-7.HDDジョウホウ	ハードディスクの利用状況を表示します。	P15
	9-8.HDDフォーマット	ハードディスクをフォーマット（初期化）します。保存していた全てのデータは消去されますのでご注意下さい。	P16
	9-9.ロード　&　コピー	マスターディスクからのコピーを行いながらハードディスクへのイメージ作成を並行して行います。	P16

Ver. 2.27.9

※ 7-8.のライトスクライブは、LightScribeレーベル印刷機能を有したドライブ搭載時のみ利用できます。

操作説明

1.コピー

マスターからブランクディスクへの複製を行います。

① ドライブにディスクをセットします。
② メニューから『**1.コピー**』を選択し、挿入したブランクディスクの枚数、ソースの容量またはイメージの名前が表示（図1）されたのを確認したら［OK］ボタンを押します。

（図1）

```
1.コピー  x 4
ソース: DVD 4245MB
```

挿入され、認識したブランクディスクの枚数
マスターの種類と容量

③ コピーが開始され、進捗が表示されます。（図1-2）
④ 時間が経過してコピーが終了すると、結果が表示され（図1-3）、コピーに成功したディスクのドライブトレイが排出され、失敗したドライブは排出されません。
⑤ 続いてコピーを行う場合には、マスター以外のドライブからディスクを取り出し、新たにブランクディスクを挿入して②の操作を繰り返します。

（図2）

```
コピー  x 4            4245MB
8.0X        15%        638MB
```

書込枚数　マスターの容量
現在の書込速度（倍速）　進捗の割合　書込済の容量

（図3）

```
コピー    7:43
 セイコウ  4   シッパイ  0
```

コピーに掛かった時間
コピー成功ディスク枚数　コピー失敗ディスク枚数

2.テスト　コピー

ディスクの書込をシミュレートし、動作チェックをします。（実際には書き込みません）

上記【**1.コピー**】項目の［**1.コピー**］のところをテストコピーに置き換え、同様の操作を行って下さい。

3.コンペア

書込済みのディスクが、正常に書きこまれたかどうかのチェックを行います。

上記【**1.コピー**】項目の［**1.コピー**］のところをコンペアに置き換え、同様の操作を行って下さい。
なお、コンペアは書き込まれたデータ内容が同一であるかをチェックし、書き込みもしくは読み込みエラーが発生していないかをチェックする機能ですので、書込で使用したものと同じイメージを指定して下さい。別のイメージを指定しますとコンペア失敗となります。

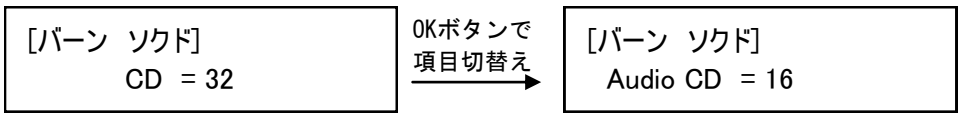
4.コピー＋コンペア

コピーの動作に引き続き自動でコンペア動作が行われます。（操作はコピーと共通です）

5.コピースピード　セッテイ

コピー等の書込動作速度を指定します。（書込倍速設定）

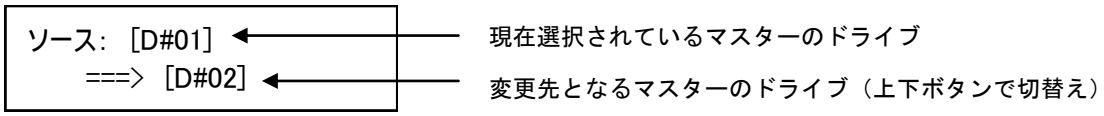
① メニューから『**5.コピースピード　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② 「**[バーンソクド]　CD =XX**」と表示されます。CDの速度を変更する場合には［↑］［↓］ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には[OK] ボタンを押し、目的の種類に切り替ます。数字の変更が終わった場合にも[OK] ボタンを押し、すべての設定が終了したら［ESC］ボタンを押してメニューから抜けます。



6.マスター　センタク

利用するマスターのドライブや、ハードディスク内のイメージを選択します。

① メニューから『**6.マスター　センタク**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② 現在選択されているマスター（ソース）のドライブと、矢印の先に変更先のマスターが表示されます。［↑］［↓］ボタンを押して変更先のドライブを切り替えます。通常は一番上のドライブを使用しますので[D#01]を選択します。[01]の部分がドライブの通し番号を指し、上から順番に数字が増えます。また、ハードディスクをマスターにする場合には[HDD]に切り替えて[OK] ボタンを押します。
③ HDDに保存済みのマスターイメージの名前が表示されますので、利用したいイメージファイルに切り替えて選択し[OK] ボタンを押します。
④ 『**6.マスター　センタク**』が表示されるまで、繰り返して[OK] ボタンを押して下さい。



7.ユーティリティ

本機の各種情報を参照したり、特殊な機能を実行します。

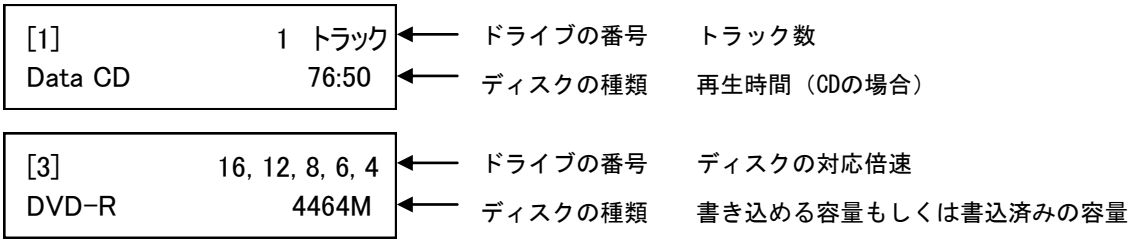
7-1.ジョウホウ

ドライブに挿入されているディスクの情報や、本機の各種情報を確認できます。

7-1-1.ディスク　ジョウホウ

ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます

① 情報を確認したいディスクをドライブに挿入します。
② メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**1.ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで『**1.ディスク　ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
⑤ 「**ディスク　シキベツチュウ**」と表示された後、下図のように情報が表示されます。（一例）



7-1-2.ドライブ_ジョウホウ

ドライブの型名、ファームウェアを確認できます

① メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**1.ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**2.ドライブ　ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ 確認したいドライブを［↑］［↓］ボタンで選択します。終了する場合は［ESC］ボタンを押します。

```
[#01] P02.0            1.01
PIONEER  BDR-206D
```

← ドライブの番号　ポート番号　ファームウェアバージョン
← メーカー名やドライブ型番等ドライブ固有の情報

7-1-3.システム_ジョウホウ

本機に搭載されているコントローラのファームウェアバージョンが確認できます

① メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**1.ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**3.システム　ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。

```
P507
V2.27.9                512MB
```

← コントローラの型番
← コントローラのファームウェアバージョン　搭載メモリ容量

7-2.Erase Disc

書換可能ディスク（RW、RE）の内容を消去・初期化します

① 削除したい書き換え可能ディスクをドライブに挿入します。
② メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**2.Erase Disc**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで『**クイックサクジョ**』と『**カンゼンサクジョ**』を選択し[OK]ボタンを押します。
『**カンゼンサクジョ（完全削除）**』には多くの時間がかかりますのでご注意下さい。
⑤ 消去が始まります。しばらくお待ち下さい。

```
ｸｲｯｸ　ｻｸｼﾞｮ
_ｏｏ__ｏ__
```

← 削除中のディスクが入っているドライブは「o」と「_」が交互に表示されます。

『Erase Disc』には2種類のモードが用意されております。目的・用途に合わせてお選びください。

・クイックサクジョ　→　数秒程度で処理が終わります
ディスクの「目次部分」のみ消去し、データはそのまま残します。データは残っていますが、空のディスク（ブランク）として扱われるようになります。

・カンゼンサクジョ　→　書込の場合と同等の時間が掛かります
ディスクを全てゼロのデータにします。すべての情報、データが消去されます。

「クイックサクジョ」ではデータが残っているため、復元が容易です。ブランクディスクとして第三者に渡す場合などには、カンゼンサクジョを行っていただくのをお薦めします。

7-3.ジゼン　ベリファイ

マスターディスクが正常に読み込みができるかを事前にチェックします。

① マスターのドライブにチェックしたいマスターディスクを挿入します。
② メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**3.ジゼン　ベリファイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ 読込が行われ、結果が「**セイコウ！**」（**正常**）「**シッパイ！**」（**異常**）で表示されます。

7-4.トラック　ヘンシュウ

複数の音楽CDからトラックを選択し、1枚の音楽CDに編集してコピーします。（音楽CD限定機能）

① マスターのドライブに編集元のCDを挿入し、書込先のドライブ1台にブランクディスクCDを挿入します。
② メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**4.トラック　ヘンシュウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで『**1.トラック　ヲ　コピー**』を選択し［OK］ボタンを押します。
⑤ 下に並んで表示されたトラックの番号を［↑］［↓］ボタンで切り替え［OK］ボタンを押してアルファベットを振り当てていきます。アルファベット順にトラックが決められます。
⑥ トラックの振り当てが終わりましたら右端の「OK」の位置で［OK］ボタンを押してコピーを開始します。

```
  a b   c   d
1 2 3 4 5 6 7 8
```

← コピーを実施するトラック番号（下）を選択していきます。選択した順番にアルファベット（上）が振られていきます。

⑦ 全てのトラックがコピー完了しましたら『**4.トラック　ヘンシュウ**』内の『**2.ファイナライズ**』を選択し［OK］ボタンを押します。ファイナライズの処理が完了し、オーディオ機器で利用ができる音楽CDが完成します。ファイナライズ処理を行わない場合は再生できない場合があります。

7-5.スベテノディスク　ヲ　ハイシュ

全てのドライブのトレイを開きます。

① メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**5.スベテノディスク　ヲ　ハイシュツ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 全てのドライブのトレイが開きます。（ディスクが挿入されていないドライブも開きます）

7-6.コピー　カウンター

通算のコピー履歴を表示します。

① メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**6.コピー　カウンター**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**1.カウントヲヒョウジ**』を選択し［OK］ボタンを押します。

```
 CD  P0      F0
DVD  P0      F0
```

← CDの成功数（Pass）と失敗数（Fail）
← DVDの成功数（Pass）と失敗数（Fail）

※ カウンターを利用するには『**2.カウンター　キドウ**』を［**オン**］にしておく必要があります。オフの時にはカウントされません。
※ カウントを消すには『**3.カウンター　クリア**』を行います。

7-7.BIOS　アップデート

システムのファームウェアをアップデートします

① マスターのドライブにファームウェアの書き込まれたディスクを挿入します。
② メニューから『**7.ユーティリティ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**7.BIOS　アップデート**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ 一定時間が経つとアップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

※ ファームウェアはデュプリケータの挙動を大きく変えたり、メニューの変更や設定の初期化、ドライブの対応など様々な条件が変更となるものです。アップデートする必要のない場合には極力行わないで下さい。また、書き換え中に電源が切れた場合にはデュプリケータの動作が行えなくなったり、正常に起動しなくなる場合がありますので、アップデートする際にも充分にご注意下さい。

7-8.ライトスクライブ

LightScribe規格のディスクのレーベル印刷を行います。（LightScribe対応ドライブが必要です）

※ 本製品はLightScribe対応ドライブを搭載しておりませんので、この項目は省略します。

MEMO

8.セッテイ

本体の挙動全般の設定を行います。

8-1.オートスタート　タイム

ドライブ挿入から何秒後に自動コピーを開始するか設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**1.オートスタート　タイム**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで**「オフ」**から**「99ﾋﾞｮｳ」**の中で利用したい時間を選択し［OK］ボタンを押します。

8-2.ヒョウジモード　センタク

コピー中の進捗や、時間表示の方式を選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**2.ヒョウジモード　センタク**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ **「キホン」「Show Speed」「Show Timer」**から表示したい方式を選択しボタンを押します。

「キホン」

コピー　x4		4425M
	15%	638M

「Show Speed」

コピー　x 4		4245MB
8.0X	15%	638MB

↑倍速が表示されます

「Show Timer」

コピー　x 4		4245MB
1:14	15%	638MB

↑経過時間が表示されま

8-3.ボタン　ノ　オト

ボタンを押したときに音が鳴るかどうかを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**3.ボタン　ノ　オト**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで**「オン」「オフ」**を切り替えます。（オン：鳴る　オフ：鳴らない）

8-4.スタート　ジノ　ハイシュツ

起動時に排出されるドライブを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**3.ボタン　ノ　オト**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで設定したい項目に切り替えます。

・コピーモト　ハイシュツ、コピーサキ　ハイシュツ
　コピーモトはマスタードライブ、コピーサキはターゲットドライブのトレイを排出します。

・スベテノ　ディスクハイシュツ
　ディスクが入っている全てのドライブのトレイを排出します。

・スベテヲ　ハイシュツ
　ディスクの有無に関わらず、全てのドライブのトレイを排出します。

・ハイシュツ　シマセン
　排出は行いません。

8-5.ヨミトリ_スピード

マスターの読み込みスピードを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**5.ヨミトリ　スピード**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 「**[ヨミトリ　スピード]　CD =XX**」と表示されます。CDの速度を変更する場合には［↑］［↓］ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には[OK］ボタンを押し、目的の種類に切り替ます。数字の変更が終わった場合にも[OK］ボタンを押し、すべての設定が終了したら［ESC］ボタンを押してメニューから抜けます。

8-6.コンペア_ソクド

コンペア時の倍速設定を行います。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**6.コンペア　ソクド**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 「**[コンペア　ソクド]　CD =XX**」と表示されます。CDの速度を変更する場合には［↑］［↓］ボタンで倍速の数字を指定します。他のディスク種類の倍速を変更する場合には[OK］ボタンを押し、目的の種類に切り替ます。数字の変更が終わった場合にも[OK］ボタンを押し、すべての設定が終了したら［ESC］ボタンを押してメニューから抜けます。

8-7.ゲンゴ_センタク

画面に表示する言語を選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**7.ゲンゴ　センタク**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで利用したい言語に切り替えます。

8-8.セッテイ_クリア

全ての設定をデフォルト状態に戻します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**8.セッテイ　クリア**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 警告メッセージが表示されますので、クリアして良ければ［OK］ボタンを、クリアするのを辞める場合には［ESC］ボタンを押します。

8-9.ショウサイ　セッテイ

特殊な設定を行います。（通常は変更する必要がありません）

8-9-1.システム_キドウジカン

ドライブの認識に時間が掛かる場合に起動時間を引き延ばすことが出来ます。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**1.システム　キドウジカン**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで「**5ﾋﾞｮｳ**」から「**99ﾋﾞｮｳ**」の中で利用したい時間を選択し［OK］ボタンを押します。

※ ドライブの台数が多いほど、認識に時間が掛かるため、短い時間に設定されていると一部のドライブが認識されないまま起動してしまうことがあります。このような場合にはこの設定項目で起動時間を長く設定し、改善されるかをお試し下さい。

8-9-2.スタート_メニュー_センタク

起動時に表示されるメニューを選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**2.スタート　メニュー　センタク**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ 起動時に表示したいメニュー項目を選択し［OK］ボタンを押します。

8-9-3.ヨミトリ_エラー_スキップ

読み取りのエラーが発生した場合に無視するかを選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**3.ヨミトリ　エラー　スキップ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで「**オン**」「**オフ**」を切り替えます。（オン：する　オフ：しない）

8-9-4.フリョウ_マスター_ヘンコウ

マスターが不良状態の場合にディスクを排出するかを選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**4.フリョウ　マスター　ヘンコウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで「**オン**」「**オフ**」を切り替えます。（オン：する　オフ：しない）

8-9-5.CDオーバーコピー　　※ オフを推奨

CD規格サイズを超えた位置に書込を行い、書込可能領域を増やします。互換性は低下します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**5.CDオーバーコピー**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで「**オン**」「**オフ**」を切り替えます。（オン：する　オフ：しない）

8-9-6.HDD　イメージ　ヒョウジ

ハードディスクをマスターにした際の表示方法を選択します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**6.HDD　イメージ　ヒョウジ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで表示したいモードを選択し［OK］ボタンを押します。

・イメージ　ノ　ナマエ　・・・　イメージファイルに付けられた名前で表示します。
・ヨウリョウ　・・・　イメージファイルの容量で表示します。

8-9-7.Keep Buffer

※ オンを推奨

バッファの利用を一定に保ち、安定動作を重視します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**7.Keep Buffer**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで**「オン」「オフ」**を切り替えます。（オン：行う　オフ：行わない）

8-9-8.キドウパスワードセッテイ

起動時に必要となるパスワードを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**8.キドウパスワードセッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで**「パスワードセッテイ」「オフ」**を切り替えます。
⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧下さい。

8-9-9.システムパスワードセッテイ

セッテイの項目を変更する際に必要となるパスワードを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**9.システムパスワードセッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで**「パスワードセッテイ」「オフ」**を切り替えます。
⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧下さい。

8-9-10.CountPassword

コピーカウンターを表示する際に必要となるパスワードを設定します。

① メニューから『**8.セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ショウサイ　セッテイ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで『**10.CountPassword**』を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで**「パスワードセッテイ」「オフ」**を切り替えます。
⑤ 次のページの【パスワード設定方法】をご覧下さい。

●パスワード設定方法

メニュー『8.セッテイ』→『9.ショウサイ　セッテイ』内の8～10番メニューに共通する操作です。

① **「パスワードセッテイ」**で［OK］ボタンを押すと、パスワード入力画面に切り替わります。

```
［xxxパスワードセッテイ］
==> _
```

※ 使用できる文字　A～Zのアルファベット大小別　0～9の数字　計62種類

← パスワード入力欄（最大6桁）

② ［↑］［↓］ボタンで英数字を切り替えて入力していきます。次の桁に移動する際には［OK］ボタンを押します。［ESC］ボタンを押すと全ての入力をキャンセルして1つ前のメニューに戻ります。

```
［xxxパスワードセッテイ］
==> ABC012
```

③ 6桁の英数字の入力が終わりましたら、もう一度［OK］ボタンを押して入力を完了させます。自動で1つ前のメニューに戻りますが、設定は完了しています。次回から先ほど入力したパスワードが有効になりますので、入力した英数字を忘れないようにお願いします。

● キドウパスワード　・・・　デュプリケータの電源を入れた直後にパスワード入力を求めます。
※ キドウパスワードは、正しくパスワードの入力が行えない場合に全ての操作を受け付けなくなります。

● システムパスワード　・・・　**『8.セッテイ』**を選んだ時にパスワード入力を求めます。

● CountPassword　・・・　**「コピーカウンター」**を見る時にパスワード入力を求めます。

※注意
設定したパスワードを忘れてしまうと、操作が行えなくなります。
特に、起動時にパスワードを確認する**『8.キドウパスワードセッテイ』**が入力できない場合には、全操作が行えず、復旧も行えなくなりますのでくれぐれもご注意下さい。
この操作において発生した問題についてのサポート、および無償保証の適応は行えませんので予めご了承下さい。

※ パスワードを使用した後で、使用しないよう設定をし直す場合は、設定を**「オフ」**にすると共に、万が一の操作ミスを防ぐため、パスワードセッテイを全て空欄で埋めておくことをお薦めします。パスワードセッテイの際に［↑］［↓］ボタンを押さずに［OK］ボタンを押していくことで空欄の入力が行えます。

8-9-11.Fast Key

※ uSATAコントローラ専用機能

コントローラ操作ボタンの「Fast Key」に機能を割り当てます。

① メニューから**『8.セッテイ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで**『9.ショウサイ　セッテイ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで**『11.Fast Key』**を選択し［OK］ボタンを押します。
④ ［↑］［↓］ボタンで**「#1（左のボタン）」「#2（右のボタン）」**を切り替えます。
⑤ 設定しておきたい機能を選び［OK］ボタンを押します。

※ コントローラ操作部の左にUSBスロットが付いた「uSATA」コントローラ専用の機能です。通常のコントローラにはFast Keyが用意されていませんので、この機能は利用できません。

9.イメージ　カンリ

※ HDD搭載機のみ対象の項目

ハードディスク内にイメージの作成を行ったり、削除や変更等の設定を行います。

1.イメージ　センタク

ハードディスク内に保存済みのイメージを選択します。

① メニューから**『9.イメージ　カンリ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで**『1.イメージ　センタク』**を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のイメージデータを［↑］［↓］ボタンで選択し［OK］ボタンを押して選択を決定します。

```
001［A001        ］
DVD                4225M
```

← イメージ振当番号　［イメージファイル名］
← イメージのディスク種別　容量

2.イメージサクセイ

マスターディスクからハードディスク内にイメージファイルを作成します。

① マスターのドライブにマスターディスクを挿入します。
② メニューから**『9.イメージ　カンリ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ［↑］［↓］ボタンで**『2.イメージサクセイ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
④ 自動的に名前が振り当てられたイメージファイルが作成されます。

3.ヨミトリ　スピード　セッテイ

マスターディスクを読み込むスピードを設定します。読込が安定しない場合に速度を下げます。

① メニューから**『9.イメージ　カンリ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで**『3.ヨミトリ　スピード　セッテイ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスクの種類ごと速度を設定していきます。設定の操作方法は**『5.コピースピード　セッテイ』**を参照下さい。

4.イメージ　ジョウホウ

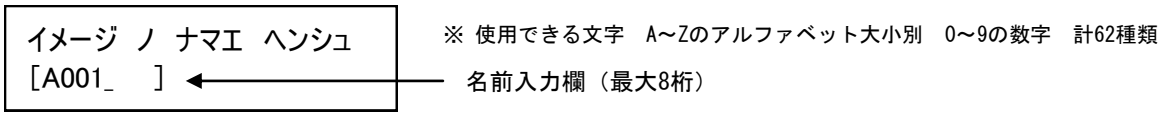
ハードディスク内に保存済みのイメージの情報を確認します。

① メニューから**『9.イメージ　カンリ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで**『4.イメージ　ジョウホウ』**を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のイメージデータを［↑］［↓］ボタンで選択して確認します。（確認できる情報は『1.イメージ　センタク』と同様です）

5.イメージ ノ ナマエ ヘンシュウ

ハードディスク内に保存済みのイメージの名前を変更します。

① メニューから『**9.イメージ　カンリ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**5.イメージ　ノ　ナマエ　ヘンシュウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいイメージを［↑］［↓］ボタンで選択し［OK］ボタンを押すと名前編集画面に切り替わります。
④ ［↑］［↓］ボタンで英数字を切り替えて入力していきます。次の桁に移動する際には［OK］ボタンを押します。［ESC］ボタンを押すと全ての入力をキャンセルして1つ前のメニューに戻ります。



⑤ 入力が終わり、もう一度［OK］ボタンを押すと右端に「OK？」の文字が出ますので、良ければ［OK］ボタンを押して名前の編集を終了させます。8桁まで入力する前に空欄を入れて［OK］ボタンを押すと入力が切り上げられます。

6.イメージ サクジョ

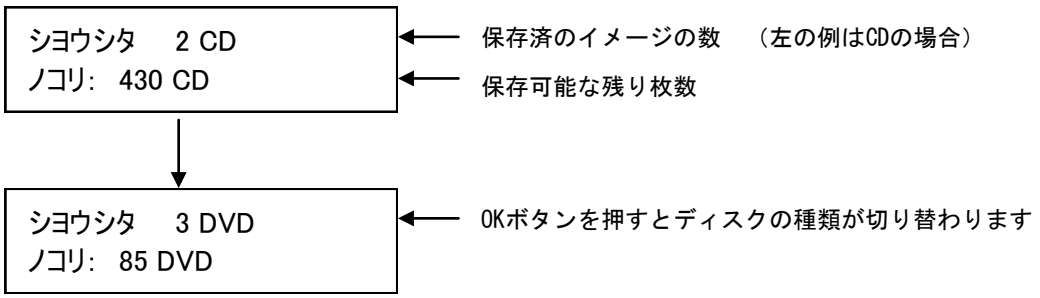
ハードディスク内に保存済みのイメージを指定して削除します。

① メニューから『**9.イメージ　カンリ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**6.イメージ　サクジョ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいイメージを［↑］［↓］ボタンで選択し［OK］ボタンを押します。
④ 削除して良いか確認の画面が表示されるので、良ければ［OK］ボタンを、キャンセルする場合には［ESC］ボタンを押します。

7.HDD ジョウホウ

ハードディスク内に保存済みのイメージの種類と数、残り保存可能数を表示します。

① メニューから『**9.イメージ　カンリ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**7.HDD　ジョウホウ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ ディスプレイにハードディスクの利用状況が表示されます。CDから表示されますので、他の種類に切り替える場合には［OK］ボタンを押します。ボタンを押すごとに種類が切り替わります。



8.HDDフォーマット

ハードディスクを初期化（全データ消去）します。

① メニューから『**9.イメージ　カンリ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**8.HDD　フォーマット**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 全てのデータを消去して良いかの確認画面が出るため、良ければ［OK］ボタンを、キャンセルする場合には［ESC］ボタンを押します。
④ 一定時間が経った後、フォーマットが完了して自動的にメニュー画面に戻ります。

※注意
フォーマットを行うと、データの復旧は不可能となります。良くご確認の上、実行して下さい。

9.ロード ＆ コピー

マスターディスクからコピーを行うのと同時にハードディスクへイメージを保存します。

① メニューから『**9.イメージ　カンリ**』を選択し［OK］ボタンを押します。
② ［↑］［↓］ボタンで『**9.ロード　＆　コピー**』を選択し［OK］ボタンを押します。
③ **「オフ」「ドウキ」「イチドダケロード」**の中で利用したい機能を選択し［OK］ボタンを押します。

● オフ
自動ではマスターディスクのイメージを保存しません。

● ドウキ
自動でマスターディスクのイメージを保存します。
オンザフライで書込を行いながら、ハードディスクにイメージを保存します。
連続して二度目以降の書込を行うと、保存されたイメージをマスターにして書込を行います。

● イチドダケロード
自動でマスターディスクのイメージを保存します。
書込を開始すると、ハードディスクにイメージの保存が開始され、一度目から保存されたイメージをマスターにして書込を行います。

製品の取り扱い・修理に関するご相談窓口

株式会社　創朋

☎ 03-5812-2153

受付時間：平日 10：00 ～ 19：00（休業日を除く）

株式会社　創朋

〒101-0021 千代田区外神田 6-6-1 斉藤ビル 3F

TEL.03-5812-2153　FAX.03-5812-2152　http://www.soho-jp.com

2012. 4. 19